

Claude Code Agent Teams 使い方ガイド

複数の Claude Code インスタンスで協力して並行作業するための完全ガイド

Version 1.0 | 2026年2月

1. Agent Teams とは

Agent Teams は、複数の Claude Code インスタンスが協力して並行作業するための実験的機能です。1つのセッションがチームリーダーとして機能し、複数のチームメイトが独立して作業します。

リーダーがタスクを作成・割り当て、チームメイトが共有タスクリストを通じて自己調整します。チームメイト同士が直接メッセージを交換できるため、複雑な議論や協力が必要な作業に最適です。

2. 有効化方法

Agent Teams はデフォルトで無効です。以下のいずれかの方法で有効にしてください。

settings.json で設定

```
{
  "env": {
    "CLAUDE_CODE_EXPERIMENTAL_AGENT_TEAMS": "1"
  }
}
```

環境変数で設定

```
export CLAUDE_CODE_EXPERIMENTAL_AGENT_TEAMS=1
claude
```

3. 表示モード

In-process モード（デフォルト）

- すべてのチームメイトがメインターミナルで実行される
- Shift+Up/Down でチームメイトを選択してメッセージを送信
- セットアップ不要

Split Panes モード

- 各チームメイトが独自の pane で実行される

- すべての出力を同時に表示できる
- tmux または iTerm2 が必要

設定方法:

```
{
  "teammateMode": "in-process" // or "tmux"
}
```

または CLI フラグで:

```
claude --teammate-mode tmux
```

4. 基本操作

操作	方法
チームメイト切替	Shift+Up/Down
Delegate モード有効化	Shift+Tab
チームメイト終了	自然言語で指示
チームクリーンアップ	"Clean up the team"
完了待ち	"Wait for teammates"

5. 使用例

研究とレビュー

```
Create an agent team to review PR #142. Spawn three reviewers:
- One focused on security implications
- One checking performance impact
- One validating test coverage
```

新機能の並行開発

```
Create a team with 4 teammates to refactor these modules
in parallel. Use Sonnet for each teammate.
```

デバッグ（競合仮説の検証）

Users report the app exits after one message instead of staying connected. Spawn 5 teammates to investigate different hypotheses and challenge each other's theories.

計画承認を要求する

Spawn an architect teammate to refactor the authentication module. Require plan approval before they make any changes.

6. Subagents との比較

特性	Subagents	Agent Teams
コンテキスト	結果をリーダーに返却	完全独立
通信	リーダーのみ	直接メッセージ交換
調整	メインが全管理	共有タスクリストで自己調整
コスト	低い(結果が要約)	高い(独立インスタンス)
最適な使用	集中タスク	議論・協力が必要な作業

選択基準

- Subagents: 迅速で集中したワーカーが結果を返却するタスク向き
- Agent Teams: ティームメイトが発見を共有・相互検証し協調する作業向き

7. ベストプラクティス

十分なコンテキストを提供する

ティームメイトに明確な指示と対象範囲を伝えましょう。

```
Spawn a security reviewer teammate with the prompt:  
"Review the authentication module at src/auth/ for  
security vulnerabilities. Focus on token handling,  
session management, and input validation."
```

適切なタスクサイズを設定する

- 小さすぎる: 調整のオーバーヘッドが利益を上回る
- 大きすぎる: 無駄な努力のリスクが増す
- 適切: 関数、テストファイル、レビューなど明確な成果物があるタスク

ファイル競合を避ける

複数のティームメイトが同じファイルを編集すると上書きされる可能性があります。各ティームメイトが異なるファイルセットを担当するように設計してください。

チームメイトの完了を待つ

```
Wait for your teammates to complete their tasks before proceeding
```

8. 注意事項と制限

- 各チームメイトが独立した Claude インスタンスのため、トークン消費が大きい
- 1セッションで管理できるチームは1つのみ
- チームメイトは他のチームメイトを生成できない(ネスト不可)
- リーダーはチームを作成したセッションに固定
- In-process チームメイトは /resume や /rewind で復元されない
- Split panes モードは tmux または iTerm2 が必須

9. トラブルシューティング

チームメイトが表示されない

- In-process モードで Shift+Down を試す
- tmux モードの場合、tmux がインストールされているか確認 (which tmux)

パーミッションプロンプトが多すぎる

事前に一般的な操作を permissions 設定で承認しておくで改善されます。

チームメイトがエラーで停止した

- 直接メッセージで追加指示を送る
- 代替チームメイトを生成する

リーダーが早く終了してしまう

```
Keep going and wait for your teammates to complete their tasks
```